



静岡市議会議員 まつや清
 静岡市議会 緑の党グリーンズジャパン
 静岡市葵区追手町 5-1 TEL : 054-254-2111(代)



まつや清公式ブログ

新聞に見るまつや清の政治活動

消防職員不正受給 「組織風土」背景に 担当課長

(2024年10月8日 静岡新聞)

葵区・消防隊員殉職「局挙げ再発防止」

重大不備指摘受け (2024年10月8日 静岡新聞)

静岡市の池田悦章消防局長は7日、葵区で2022年8月に発生した消防隊員殉職事故を巡る現場活動が市の内部統制評価報告書で事務上の重大不備と評価されたことについて、「真摯(しんし)に受け止め、局を挙げて再発防止に取り組み」と述べた。市議会9月定例会企業消防委員会での答弁。殉職事故を巡っては、今年2月に市が報告書を公

葵区・消防隊員殉職
 「局挙げ再発防止」
 重大不備指摘受け

表した行政的検証で、消防局組織の安全管理上の問題や現場での規律違反行為を認定し、23年度の市内部統制評価報告書でも事務管理が不適正だったと指摘した。
 事故の遺族対応については山内善康消防総務課長が「事故直後から遺族の気持ちに寄り添った対応に努め、適切に対応している」との認識を示した。

消防職員不正受給 「組織風土」背景に
 担当課長
 静岡市の山内善康消防総務課長は7日、50代の幹部消防職員が6年間にわたり深夜勤務給料・手当を計388万円不正受給していた問題について、「消防特有の階級制度の中、間違ったことを間違いと言えない組織風土が不適正受給を長期化させた」との認識を示した。市議会9月定例会企業消防委員会での答弁。

幹部職員は消防署出張所2カ所に副所長と所長として勤務していた2017年4月〜23年9月、実際は仮眠していたのに深夜勤務したと虚偽の書類を作成。給料・手当の不正受給を繰り返し、今年7月に停職6カ月の懲戒処分を受けた。内部からの情報提供を受け、消防局が同僚職員らに聞き取ったところ、「所長なので(起きなくても)忬度(そんたく)した」などと答えたという。
 山内課長は「再発防止と市民の信頼回復に向けて職員の服務規律の保持により一層努める」と述べた。

大井川と リニア

沢の涵養年代 重要視しない

環境局長答弁

静岡市の田嶋太環境局長は30日、リニア中央新幹線トンネル工事に伴い南アルプスの自然環境に影響が生じる恐れがある問題で、大井川上流部の沢に「地下深部の地下水が湧き出ているということではない」と述べ、沢の湧水成分の涵養(かんよう)年代は重要視しない考えを示した。松谷清氏(緑の党)への答弁。

田嶋局長は、JR東海が作成したトンネル掘削時の地下水流動想定図を示した上で、地下深部の地下水が

沢に湧き出ることはないため、沢の湧水の涵養年代は有用な情報にはならないと説明した。

生活保護の夏季加算 静岡市が必要性表明

市議会、冷房代上乘せ

静岡市の山本哲生保健福祉長寿局長は30日の市議会総括質問で、生活保護制度に冷房代などを上乗せする夏季加算がないことに「熱中症など健康被害の予防のために必要だ」と述べた。政令市と東京都でつくる大都市生活保護主管課長会議を通して今後、国に夏季加算の創設を要望する。

市が夏季加算の必要性を表明するのは初めて。松谷清さん(緑の党)の質問に答えた。生活保護制度では、暖房代などのための冬季加算はあり、静岡市では11月～翌年3月に単身世帯で月額2630円上乗せされる。近年の気候変動で夏に異常な高温になることが多いものの、冷房代を補助する夏季加算はなく、高齢世帯などの熱中症対策の要望が市にも寄せられている。

(山田晃史)